

地域母子保健研修会 8.

「母子保健活動における子ども虐待予防 応用編」

1. 目的 令和4年度改正の児童福祉法により、令和6年度から市町村に子ども家庭センターの設置が求められています。保健と福祉の両部門がさらに連携・協働を深め切れ目のない支援体制を強化してするために必要な知識を取得します。養育者の課題に応じた多職種多機関連携など、支援者のスキルアップや職員のエンパワメントについて学びます。
2. 日程 令和7年1月15日(水)～1月16日(木)《申込期間 11月18日(月)～12月6日(金)》
3. 対象 母子保健に従事する保健師・助産師等の指導的立場（管理職や中堅保健師）にある専門職
4. 定員 会場：50名 / Web：60名
5. 料金 受講料：25,300円（税込）資料代：2,200円（税込）郵送料：370円※WEB受講生のみ
6. 講義時間 1講義：80分（講義70分、質疑応答10分）
7. 研修内容(予定) ホームページ (<http://www.boshiaiikukai.jp/>) でご覧いただけます。

月日	時間	内容	講師	
1/15 (水)	10:00～10:40	オリエンテーション・グループワーク	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:55～11:55	子ども虐待に取り組む基本理論 ヘンリーケンプに学ぶ発生予防に有効な 保健師活動	上野 昌江	四天王寺大学看護学部 看護学研究科 教授
	12:55～14:10	対象別の虐待発生予防 (若年・MR・精神疾患・未熟児・先天性疾患児・ 未婚・離婚・被虐待歴等)		
	14:25～15:45	児童虐待防止対策について ～母子保健・児童福祉行政の最近の動向～	笠 真由美	こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官
1/16 (木)	9:15～10:35	要対協、児童相談所との連携と 母子保健に求められる役割とは	田口 美恵子	世田谷区児童相談所地域支援担当
	10:50～12:10	こども虐待の社会的対応への医療の取り組み	栗原 八千代	聖マリアンナ医科大学小児科助教
	13:10～14:30	職員のエンパワメント育ちあう職場づくり (事例検討のすすめ)	高橋 千枝	元岡山県保健師
	14:45～16:05	虐待死を予防する母子保健の役割 重篤事例検証報告から学ぶ	有本 梓	横浜市立大学医学部看護看護学科 大学院医学研究科看護学専攻 教授